

## 防災講座プログラムの展開 (00:00～00:50)

時間配分	全体の流れ	使用するもの・留意点
00:00～00:05 〈着席・説明〉:5分	◆挨拶・主旨説明  東日本大震災のこと、そのときの資料を集めていること、資料を集めることで歴史をつむいでいること。博物館資料は、未来を創るための資源として活用していること。	班員が向かい合って話し合いに参加できるように、着席を指示。  紙等を班長へ手渡す。
00:05～00:15 〈導入〉:10分	◆資料説明 壊れた天井照明、カップの中のろうそく。 実際に避難所となる場所を想起する資料を説明。 避難所での自治(自分ができる事)を想定させる投げかけを行う。	天井照明(富岡高校) ろうそく 避難所の貼紙
00:15～00:40 〈展開〉:25分	◆クロスロードゲーム① ・各班で感じたこと、ジレンマを班ごとに共有して発表する。 ・数班が発表。 ◆クロスロードゲーム② ・避難所で自分たちが協力してできそうなことを想像する。 ・発表を通じて、自分ができることを想像する。	<input type="checkbox"/> A4 用紙 <input type="checkbox"/> 太字ペン ワークシートに記入する。
00:40～00:48 〈まとめ〉:8分	◆まとめ 中学生ができることを、災害地の実践例から紹介。 命を守り、けがをしなければ、誰かを助けることができることを知ってもらう。 「自分を救える人が誰かを助けられる人」	地域の一員としてできることがあることを知る。 災害時自分にできることがあることに気がつく。 災害が起きる前に、できるそなえを考える。
00:48～00:50 〈引継ぎ〉2分	◆あいさつ 終了。	
ワークショップの目標	ワークショップを通じて、命を守ることはもちろんのこと、その先にある、困っている人たちのために、自分ができることを考える主体性を育むことを目的とする。	

### 【用意するもの】

◎博物館

プロジェクター スクリーン スピーカー マイク(2本)

A4 用紙:グループ分(まとめ用) サインペン:各班 1 本(まとめ用) バインダー(班数分)

ノートパソコン 震災遺産(照明、ろうそくなど)